



# WEEKLY REPORT

## 郡上八幡ロータリークラブ



ロータリー：  
変化をもたらす

国際ロータリー第 2630 地区  
東海北陸道グループ

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)  
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：西川 昇  
副 会 長：村土時男  
幹 事：岩尾 誠  
広報委員長：森下 光  
会報担当者：國田大雄・前田伊三夫

2017 年度国際ロータリー会長：イアン・ライズリー (Sandringham ロータリークラブ・オーストラリア)  
2017 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー：変化をもたらす)

### <本日のプログラム>

第 2561 回 平成 30 年 6 月 7 日 第 1 木曜日  
次期活動計画校正

### <次回の予定>

第 2562 回 平成 30 年 6 月 14 日 第 2 木曜日  
ガバナー補佐クラブ訪問  
ガバナー補佐卓話

### <前回の記録>

第 2559 回 平成 30 年 5 月 24 日 木曜日  
会員卓話  
大前正行会員・國田大雄会員

前田伊三夫・松本英樹・三原慎也・村井義孝  
西村 肇・野田三津雄・小笠原正道・大畑於左武  
奥村芳弘・酒井智義・坂本 仁・澤崎 茂  
竹内巧治・田代東次郎・和田詠伸・渡邊 剛  
山下友幸・大川達也

司 会 進 行 西村 肇 SAA

点 鐘 西川 昇会長

ソ ン グ それでこそロータリー

出 席 報 告 畑中伸夫出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
41 名 (免除 2 名)	31 名	8 名	39 名	100%

### ニ コ B O X 廣瀬泰輔担当責任者

- ・私達の母校 (坂本先生・小生) の今年の医師国家試験 100% 合格しました。(2 回目です) 澤崎 茂
- ・先日のグループゴルフ、応援ありがとうございました。団体戦 準優勝でした。 ゴルフ同好会
- ・たいくつな卓話になると思いますが、よろしくお願ひします。 大前正行
- ・本日卓話です。よろしくお願ひいたします。 國田大雄
- ・大前正行会員・國田会員、本日の卓話ご苦労様です。よろしくお願ひ申し上げます。 西川 昇
- ・大前君・國田君 卓話よろしくお願ひします。 岩尾 誠
- ・大前会員・國田会員、卓話よろしくお願ひします。 遠藤主税・畑中伸夫・羽田野優男・林 健吉 廣瀬泰輔・岩出明喜・河合 修・川井昭司

### 幹 事 報 告 岩尾 誠幹事

- ・RI 会員増強担当部より、会員の功績を称えるロータリーの表彰について
- ・ガバナーエレクト事務所より、2018~19 年度出席・会員動静報告とガバナー月信についてのお願ひ
- ・郡上市役所建設部都市住宅課より、郡上八幡中央公園除草作業への協力依頼について
- ・岐阜県環境生活部人権施策推進課より、インターネットによる人権侵害について学ぶ生き合いセミナーの開催について

### <拝受>

- ・地区事務所より、2018~2019 年インターアクトクラブ活動計画書
- ・美濃加茂 RC より、週報
- ・各務原 RC より、グループゴルフ大会成績表とお礼状
- ・岐阜県環境生活部人権施策推進課より、人権だより No. 73

### 委 員 会 報 告

- ・野田三津雄社会奉仕委員長  
来る 6 月 3 日午前 8 時から郡上八幡中央公園除草作業への協力依頼
- ・西村 肇ゴルフ同好会会長  
グループゴルフ大会の成績発表

## IDM報告 岩出明喜会員

テーマは青少年奉仕・国際奉仕です。

国際奉仕とは、ロータリーは中立を守る立場であるということ、ロータリー財団への寄付があるということです。青少年奉仕は当クラブでは、野球・柔道・サッカーへの支援を行っています。

## 会長の時間 西川 昇会長

今日は久しぶりの出席率 100%で大変有難く思っております。ありがとうございました。今年度本来ならば新湊ロータリークラブさんの方が郡上来られる予定でしたが、今年は群馬の伊勢崎中央ロータリークラブさんの方へ行かれるということでした。ぜひ一緒にとお誘いを受けましたが、当クラブでは既に年次計画を立てており丁重にお断りしました。その後、今度は伊勢崎中央ロータリークラブさんから群馬で新湊ロータリークラブさんとの交流のお誘いがありましたが、これも丁重にお断りしました。今年度、こういうことでお断りしてばかりでは今後の付き合いに非常に影響があると考えまして、理事会にも掛けて頂き、先日の5月18日に岩尾幹事と共に新湊ロータリークラブさんの例会に出席して丁重にご挨拶申し上げてきました。そうしたところ皆さんにぜひよろしくとお言葉を頂きましたので、ここで披露させて頂きます。どうもありがとうございました。

また、5月21日にはグループゴルフ大会があり、それぞれの立場でご活躍頂きまして立派な成績を収められました。大変ご苦労様でした。翌日の22日には親睦委員会主催の水車の会の旅行があり、会員の夫人におかれましては早朝よりご参集頂きまして宝塚へ出向いて頂きました。帰りには渋滞に巻き込まれ大変遅くなったとお聞きしました。そういう中で無事に日程をスムーズにこなすことができたのは、ひとえに夫人のご理解・ご協力のおかげと感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 会員卓話 大前正行会員



私は昭和58年にクラブへ入会させて頂き、その後、昭和63年に第1回郡上郡(市)少年柔道大会を開催し、去年でちょうど30回となりました。本当によくこんなに長く続けられたと嬉しく思っています。当時は、資金集め・プログラム作成・勝ち上がり表など、全部自分一人でやっていました。

一番苦労したのは資金集めでした。私が小さい頃は、柔道の試合で優勝すると、大変良い商品がもらえました。それを目指して練習をしていましたので、子供達にもそのようにしてあげたいと思いました。そのうちに、ロータリークラブからも支援をして頂くようになり、大会の会計および資金集めを柔道クラブの父兄に全部任せるようになりました。資金集めも大変なので、父兄も会費を集める様にしていき、主催は郡上市柔道協会、後援は郡上八幡ロータリークラブと私ども…という形で現在は運営するようになり、私は大変楽になりました。もう一つ楽になったのは、私が教えた子供たちが郡上へ帰って来て、指導者として携わってくれていることです。昭和63年の第1回郡上郡(市)少年柔道大会の前は、当クラブの会員だった山口精一先生が、小学生の八幡柔道スポーツ少年団を作られてやってみえました。当時、私は主に中学生を指導していました。山口先生は第1回山口旗という優勝旗を作られて大会を開催されました。しかし、その大会は2回目以降続かなかつたので、何とかしなければと思い、山口先生に私たちがやることをお話して、郡上郡(市)少年柔道大会が始まり現在に至っています。現在困っているのは、子供が少なくなり部員が減少していることです。明宝小学校は、現在1年生から6年生までで64人、1学年10人くらいしかいないということです。学校で一つのクラブ活動が出来ない状態で、野球部などは相生小学校と一緒にやっているのですが、柔道は学校ごとではなく、郡上市全体で活動しています。全国的に柔道をする子供が少なくなった理由は、補助金の不正が発覚したことや、中高校生の柔道の練習中の死亡事故、また、女子に対するセクハラ等の問題があり、柔道に対するイメージがずいぶん悪くなったことなどがあります。このような中でも、先ほども申しましたが、私が教えた子供たちが郡上に帰って来て教えてくれていますので、現在は月・木・土の週3回練習しています。私も土曜日の練習には行くようにしています。私は来年70歳になりますが、十代の子供たちと一緒にまだ練習ができるのを嬉しく思います。会員の皆さんにも、是非、子供さんやお孫さんに柔道を勧めて頂きたいと思います。

私が子供の柔道に関わるようになったのは、警察を辞めて、岐阜市長森中学の柔道部のコーチをやっていた時、父兄から合宿に行きたいがどこか良いところはないかと言われ、郡上八幡のサイクリングターミナルを宿舎として紹介し、八幡中学校の柔道場で練習をさせて頂いてからです。このことがきっかけで、郡上で子供に柔道を指導するようになりました。

私が郡上八幡ロータリークラブへ入会するきっかけは、私が柔道整備師という職業で、当時一般にはまだまだあまり認識されていなかったもので、私がクラブへ入会することで知って頂けたらと思った

からです。

ここで、柔道整復師という職業を改めて紹介しますと、一般に接骨師・整骨師・骨つぎなどといいますが、柔道整復師とは、骨折・打撲・捻挫・脱臼等を外科手術に頼らず治療することをいいます。柔道整復師は国家資格であり、開業権を持ち、保険の取り扱いができる接骨院を開院することができます。また、整形外科などの病院に勤務している者、また各種スポーツの現場でメディカルトレーナーとして活躍している者もいます。

ここで時間となりましたので終わりにします。

## 会 員 卓 話 國田大雄会員



今回は徳島の大家国際美術館のお話をさせていただきました。あれから意識するようになって出張などに行った時、何度か近くの美術館に行くようになって自分的にも良かったなと思っております。

そんな中で、本業であるスクリーン印刷に関しても今年に入って色々ありまして、まず3月に越前屋さんでスクリーン印刷展というのが1カ月間程ありました。私も作品を幾つか作りまして展示させて頂いておりましたが、地場産業ということ強くアピールしたいというところでスクリーン印刷というのをもっと世に広められれば、こういったことができるんだというのを分かって頂ければなと思い色々活動しております。この間越前屋さんでやったものは、岐阜県と岐阜県にある組合、JAGDA というデザイナーさんの集まりのクラブ、後は地元でやられているデザイナーさんとの共同作品という感じの展示会でした。実際のところ郡上市だけでも同業者組合というのがございまして、それは博覧館で常にブースを頂いて展示等を行っています。お時間があれば一度ご覧になって頂けたらと思っております。

今回は、今年の4月の21・22日に行われました春祭りで、私が住んでおります新栄町が神輿コンクールで最優秀賞を頂きましたので、このタイミングでご報告とお話をさせていただきます。

先ほど大前さんも言われたように、実際に今、子供の数が減ってきております。各町内でもかなり子供が減っており、春祭りで神輿を用意できる町内も減ってきているのが現状だと思っています。今日の午前中ですが、新卒学生の求人説明会があり参加してきました。高校生でも郡上高校・郡上北高校の昨年度卒業生の就職者を合わせても100人に満たないくらい減ってきています。私の子供

は八幡小学校ですが、子供の学年もひとクラスだったりします。そういったところで子供が減少しているという話をよく聞きますし、毎年郡上市の人口も500人程減っているという話も聞きますので、先ほど言ったスクリーン印刷も地場産業という点でも地元に残れる仕事として、もっと頑張っていきたいです。

ちょっと話が飛びましたが、今回神輿コンクールに参加しまして新栄町は比較的人数が多い町内ではあるのですが、やはり作る側の高齢というのもありまして、ご覧になられた方もみえると思いますが今年もかなり大きな神輿になりましたが、来年からはどこまで大きなものが作れるかなという話もありました。今回1年ぶりに最優秀賞を取れたので、新栄町の神輿について話させて下さい。

ここ数年、城南町と1位を取ったり取られたりでした。昨年は優秀賞で2位でしたので、今年是最優秀賞をと意気込んでおりました。毎年上位を狙えるように作っておりますが、今年はコンクールに参加する神輿が10基ということで先ほど言った人口減少ということにも係ってくるのかなと思っています。まず、何の神輿を作るのか相談し始めたのが、今年の1月からでした。構想から考えると約4カ月間くらいかけて神輿を作っています。なので1年間の1/3を神輿に費やしている町内になります。アイデアを出し試行錯誤し、実際に作り始めたのが2月頃からでした。基本的に秘密なことなので、誰かに話すことはしませんし、家族内でも言わないようにしています。今年の子供会の会長が外観や大きさ等の構想を既に持っていたので、後は細かなところをどうするかでした。私が新栄町に越してきて7回目の春祭りでしたが、最初の年は震災後の春祭りでしたのでほぼ出来上がった状態でした。ちなみにその年の神輿は八幡城で、翌13年が天狗のお面、14年が花神輿、15年が妖怪ウォッチと郡上良良ちゃん、16年には2匹の龍を箱に詰めたような形で作り、昨年17年には鳳凰を作りました。今年は風神雷神で、俵屋宗達の風神雷神図屏風をヒントに中尊寺金色堂をもじり、題名を「今四季堂」としました。左右の側面が開く屋台が2台あり、合わせて4つの側面に四季のイラストを描き題名と掛けました。金屏風からもヒントを得て、金色堂のように華やかにしようと全体を金で覆いました。2台並べて側面を開くと全長13mにもなり、かなりの大きさになりました。これまでは行灯という形で中から光が投影される神輿を作ってきましたが、大きなものは今年が最後になるのではないかとということと、これからのことも考えて一風変わった形になりましたが、イメージ通りに出来ました。

今後も色々なアイデアを出し合って、どんどん小さくなるかもしれませんが新しいことをしていきたいと思っています。来年も優勝を狙えるように頑張りますので、応援よろしくお願ひします。